

序

グローバル化が進展する中で、あらゆる分野で国境を越えた協力・調整・交渉が不可欠となっており、国際社会から地域社会までその舞台を問わず、グローバル化への対応を牽引・指導するリーダーが必要となっています。

次世代グローバルリーダー事業・「世界青年の船事業」は参加青年の国際的視野を広げ、国際協調の精神を養い、各分野において社会貢献を行うことができる次代を担うリーダーを育成することを目指しています。

今年度の事業では、「BLOOM—Be a Leader, Open Others' Minds」のスローガンを掲げ、日本を含む11か国の青年たちが平成29年1月中旬からの7日間の陸上研修を経て、34日間にわたる航海を行い、船上研修及び訪問国における寄港地活動を行いました。

研修においては、世界共通の六つのテーマに分かれたコース・ディスカッションを行うとともに、有識者によるセミナーにより、参加青年の実践的なスキルの向上を図りました。

また、各国から選りすぐりの青年たちが参加する事業ならではの取組として、今年度は、参加青年自身が持つ多彩なスキルを他の参加青年に伝えるスキル・セミナーを開催することにより、参加青年同士が互いに刺激しあいながら、プレゼンテーション能力の向上を目指しました。

さらに、訪問国のニュージーランドとフィジー共和国においては、各コース・ディスカッションのテーマに沿った視察先の訪問や文化交流活動を通して、それぞれの文化等を学ぶとともに、表敬訪問やレセプションなどの公式行事を通して国際親善を深めました。

帰国後は、日本参加青年が本事業の振り返り及び事後活動について話し合う2日間の研修を行い、無事に全行程を終了することができました。

今後も様々な分野において重要な役割を果たすことのできるリーダーを育成すべく、プログラムの向上を図ってまいります。

本報告書は、世界各国の参加青年が日本国内、船内及び各訪問国で行った様々な活動について記録したものです。この報告書を通じ、事業の成果を御理解いただくとともに、今後の一層の御支援をいただければ幸いです。

ところで、過去の事業に参加した青年たちは、現在、世界各国で様々な社会貢献活動に取り組んでおり、内閣府としてもこのような事後活動を支援しております。

今回参加した青年たちも、是非、本事業で得た知識や経験、培ったネットワークをいかし、今後の活動においてリーダーシップを発揮されることを願ってやみません。

最後に、本事業の実施に当たって御協力いただいた参加各国の政府及び事後活動組織、地方プログラムでお世話になったホストファミリーの皆様、外務省を始めとする関係省庁、地方公共団体及び青少年団体の関係各位に、心から御礼申し上げます。

平成29年3月

内閣府青年国際交流担当室長 和田 昭夫